

一生賃貸時代に対応する セレクト賃貸住宅

健康編／炭を使用

花田工務店・出雲土建

出雲市)では、日本で初めて調湿木炭を採用した「炭の家」賃貸住宅を提案。年間で11棟133戸を竣工し、既に建築中の物件も含めて6棟の予約が入っている程の人気シリーズとなっている。



▲「崖の家」外観写真(由霧土建)

調湿機能に優れた「炭のマンショソ」が人気

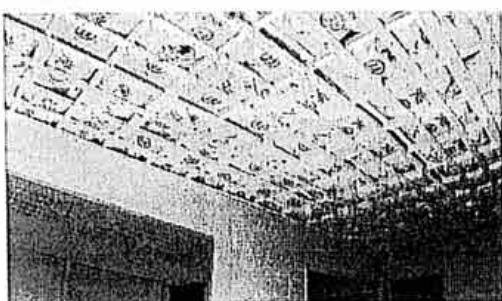
天井で異なる。床下の炭
は一つ一つのピースが木
材チップくらいしかない
これが逆に、空気と触れる
表面積を広げ、調湿、
吸湿効果を高め、床下の
湿度を15~20%押し下げ
るという。昨年2月には
「床下調湿木炭」として
特許を取得している。

ス症候群の原因となる。ルマアルデヒドも吸着するため、アレルギー原物質の減少も期待でき」という。

「出雲大社でも
採用されている
この商品。入居
は、シカクはる
ボスを実施した。
完成披露見学会
同社の花田邦
司社長は、成人
の賃貸住宅への
採用について
は、

その健康を考えた。そこで、マジシャンとして差別化が図られると思った」と述べる。

今回の物件に見学者がバスで組んで訪れた。者層の中で大きくトを占めるのが子供を持つ団塊世代。花田社長



▲天井に書き詰められた「嵐八」